

ピーマン斑点病に対する初期防除の効果（川内村）

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 ピーマン斑点病対策（川内村）

担当者 小椋智文、小林航太

I 新技術の解説

1 要旨

ピーマン斑点病は、葉や果梗に白色または暗褐色の輪紋状の斑点が生じ、多発すると落葉、落果を引き起こす糸状菌の病害である。川内村や葛尾村ではピーマン栽培が広がりつつあるが、特に露地では本病害が増加している。そこで、感染リスクが高まり始める時期（日平均気温 20～25℃、6月中旬）から定期的に防除したところ、発病を抑えることができた。

- (1) 前作にピーマン斑点病が多発したピーマントンネル栽培ほ場において、田村地域で行われている防除体系を参考に防除を実施した（図1）。
- (2) ピーマン斑点病の発病適温は20～25℃であるが、6月中旬から日平均気温が20℃以上となる頻度が増加した（図2）。初発を確認したのは7月上旬であり、収穫終期の発病度や発病葉率は、6月中旬から防除を徹底した「初期徹底+α」と「初期徹底」では低かった（表1）。なお、「初期徹底+α」と「初期徹底」に差はなかった。
- (3) 「初期徹底+α」と「初期徹底」の農薬費、作業時間は慣行に比べて増加した（表2）。

2 期待される効果

- (1) ピーマン斑点病が多発しているトンネル、露地栽培における防除体系の参考となる。

3 活用上の留意点

- (1) 枝整理や展着剤の使用によって農薬の付着を良くすることや、降雨前の散布によって防除効果を高めることが重要である。
- (2) ピーマン斑点病は一度発生すると治まらないため、発病葉を発見したら（発病初期は7月上旬）直ちに摘葉し、落葉したものも併せてほ場外に持ち出すこと。

II 具体的データ等

月日	2025年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
栽培管理		●▼		▽	■			
防除体系	散布日 24	28		13,20 27	4 18 25	4 15 21,29	5 16 26	
初期徹底+α ^{※1}		O		R,D A	D R K	D,G R A,B	S R,K B	
初期徹底 ^{※2}		O		B,D A	D	G B,R	S K R	
慣行 ^{※2}				D	D K	G R B	S K R	

●：定植，▼：トンネル被覆，—：生育期間，▽：トンネル撤去，■：収穫

斑点病対策 O：プロベナゾール粒剤，B：ペノミル水和剤，D：TPN水和剤40，R：マイクロブタニル水和剤，A：ベンチオピラド水和剤，K：カスガイミン・銅水和剤，G：炭酸水素ナトリウム・銅水和剤，S：ピラクrostロビン・ホスカリド水和剤

図1 ピーマン斑点病の防除体系

※1 使用する農薬は「初期徹底」と同様とし、特に効果があるとされるTPN水和剤40、マイクロブタニル水和剤の使用回数を増やした。なお、1日2剤散布した8月4日と9月16日は、朝方1剤、夕方1剤に分けて散布した。

※2 川内村で採用されている田村地域の防除体系を参考とした。

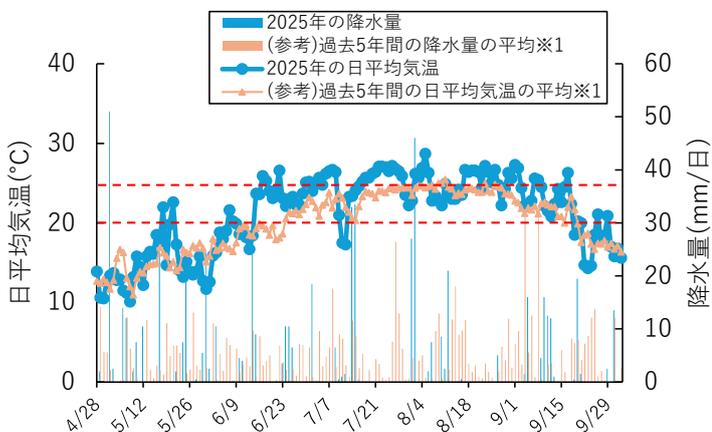


図2 生育期間中の気象経過

注) アメダス(川内)より引用。

注) 点線はピーマン斑点病の発病適温である20~25°Cを示す。

※1 2020~2024年の平均。

表1 各防除体系が斑点病の発病に与える影響

防除体系	発病度 ^{※1}	発病葉率 ^{※2} (%)
初期徹底+α	5.8	17
初期徹底	3.7	10
慣行	13.6	32

注) 2025年10月3日調査。数値は平均値(4株)を示す。

※1 最も発病している主枝1本を分岐元から採取し、全葉を下記により調査した。

発病度 = $[\sum(\text{指数別葉数} \times \text{指数}) / (\text{調査葉数} \times 4)] \times 100$

(指数4: 10斑点以上, 3: 5~9斑点, 2: 2~4斑点, 1: 1斑点, 0: なし)

※2 発病葉率 = ※1の指数1以上の葉数/全葉数 × 100

表2 防除に係る農薬費と作業時間

防除体系	農薬費 (円/10a)	慣行比 (%)	作業時間 ^{※1} (h/10a/人)	慣行比 (%)
初期徹底+α	29,680	134	22.6	119
初期徹底	23,988	109	21.0	110
慣行	22,072	100	19.0	100

注) 2025年度単価に基づく。

※1 背負い式動力噴霧器(容量20L, 丸山製作所)を使用した。散布液調製時間も含む。

III その他

1 執筆者

小椋智文

2 実施期間

令和7年度

3 主な参考文献・資料

(1) 茨城県, ピーマン斑点病に対する有効薬剤, 2020